

はとの子だより



No.3 令和7年5月30日(金)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

三色の炎 ひとつになって輝く ～はとの子運動会～



昨年度から始まった表現運動も色別対抗に

「集計は誰がやったのですか？」

「本当に間違いなく何度も計算したのですか？」

「実際の点数を教えてください」

「小さな取調官」は最終的に18名を数えました。来室したのは赤組と青組の子どもたちだったのは言うまでもありません。たくさんの尋問に耐えながら、「それほど悔しかったのだろうか」と感じていました。

先日はとの子運動会で、とても印象深い出来事がありました。閉会式が終わり、各自が教室に戻って給食の支度を始めようとしていた時です。入れ替わり立ち替わり、複数の学年の子どもたちが副校長室を訪れました。よく遊びに来る子もいれば、初めての顔もちらほら。みな一様に、鋭い質問を投げ掛けてきました。

「最後のリレーはきちんと点数に入っていたのですか？」



各色の工夫を凝らした応援にも熱気がこもって
いました



ペア学年による趣向走では1年生も大活躍

試みです。

閉会後の副校長室で、延々と続く尋問に冷や汗をかいて答える一方で、今年度の試みに手応えも感じていたところでした。

今年度はとの子運動会は、一人ひとりに活躍の場を設けたいというねらいを一層推進するために、応援や表現運動も採点の対象にし、色別の競争意識を高めました。運動が得意な子だけの晴れ舞台でありがちな運動会を、協力が得意な子、声で仲間を鼓舞することができる子、歌やリズムに合わせて踊るのが得意な子、全体をまとめることができる子、下の学年の子どもたちをお世話するのが好きな子など、様々な役割が点数に反映していくことで、全員参加の意識が高い運動会にする

保護者や地域の皆様には、たくさんご来校の上、惜しみない声援と拍手とご協力をいただきありがとうございました。年々アップデートしていく主旨をご理解の上、これからもその変化に伴う子どもたちの成長を楽しんでいただけたら幸いです。



赤組の5連覇を阻み、総合優勝に輝いた黄組 おめでとう！ 赤組は王座奪還を、青組は捲土重来をねらいましょう

県庁出前講座「古文書に見る秋田の戊辰戦争」



秋田県立古文書館からお二人の学芸員を講師としてお招きし、出前講座を実施しました。きっかけは、昨年度本校の研究主任を務めていた鈴木聡先生（現附属中学校）が開発した本校のオリジナル単元「秋田の戊辰戦争」を、今年度、主幹教諭の渡部和朝先生が引き継いだことからです。

修学旅行先の函館は、旧幕府と新政府の勢力争いの最終地です。当然、五稜郭も訪れる子どもたちが大勢いるのですが、この秋田も経由地として戦禍の記録が残っていること

とはあまり知られていません。

旅行先での学びを深めつつ、子どもたちが本気で学ぶ機会をと考え、昨年新聞等で戊辰戦争にまつわる本県の古い文献を解説した記事を掲載されていた学芸員さんがいらっしゃることを突き止めた渡部先生の企画で、本講座を実施しました。

2時間通しの講座でしたが、学芸員の先生と子どもたちの熱気溢れるやり取りが途絶えず、誰ひとりとして休憩を取りません。現時点で最後の内戦である戊辰戦争において、秋田の先人たちが何を考え、判断し、命を散らしたのかを、データや文献に基づきながらリアルに捉えることができました。最後は「戦争は勝者も敗者も等しく心に深い傷を残す」という真実に至る、充実した時間となりました。



「ESプラン」へのご協力ありがとうございました

P T A 総会でもお伝えしたとおり、今年度の1年生は、小学校生活への緩やかな適応、異なる生育歴や保育文化を背景とした多様な子どもたちの効果的な融合、学校と家庭や地

域が一体となって子どもを育てる意識の醸成を目的として、「E S (Educational Support) プラン」を実施しました。

誕生月順に分割した仮学級「さくら・けやき・いちよう」を、約3週間交替で1年部の担任がローテーションして子どもとの交流を深め、育ちと学びの状況を観察しました。保護者の方々が授業に参画する機会も積極的に設け、教員と一緒に子どもの成長を支えるための手立てについて相談したり、情報交換したりしました。これまで面識のなかった保護者相互の親睦を深めつつ、自分のお子さんとは異なるこども園等から入学してきたお子さんについても知る機会となりました。

子ども・保護者・教員が互いに顔を合わせ、互いの考えを交流し、喜びや迷いなどを通じ合いながら、一丸となって子どもを育てる教育文化を築く基盤ができたものと自負しております。

保護者の方々からは、次のようなご意見やご感想をいただきました。

「担任の先生がローテーションで変わることで、1年部のどのクラスの先生とも親しくなる機会をもてたようです。クラス担任の先生以外の先生にも何か困ったことがあった時に相談しやすくなり、より学校になじみやすくなると思います。」

「担任の先生が短い期間で変わってしまうことで慣れなくて先生に声をかけることが恥ずかしかったと戸惑いの声がありました。」

「日頃の自分の子がどういう様子なのか、周りはどうなのか理解でき、また別の幼稚園から知り合いがいませんでしたが、顔見知りの方もできて安心してスタートを切ることができました。何かあってもある程度理解できているので、そういう安心感にもつながっている気がします。」

「いつも（授業に）来ていないところの子どももさみしいなどと言出しかねないと感じております。仕事にも影響がある可能性が出てくるのではないのでしょうか。そのような活動に意味があるのか、とても疑問に思います。」

様々なご意見やご感想をありがとうございました。始まったばかりの試みです。今後の取組の参考にさせていただき、発展改善に向けて取り組んでいきます。

本校の教育目標は「自律」です。学校や家庭、地域で大人からたっぷり愛情を注がれた子どもは、それに満足すると大人の保護から離れだし、自分で何でもやってみよう、失敗も乗り越えて挑戦しようとするようになります。そんな子どもを支える私たち「大人の自律」は、自分で挑戦しようとする子どもにその背中で望ましい姿を見せ、少しずつ「手を離していく」ことです。「E Sプラン」が大人の手の離し方をともに考えるきっかけとなることを期待しています。

本日、17時頃に「eメッセージ」にて1年生の保護者の皆様に向けて、6月3日から始まる本学級の編制結果をお知らせします。今後も引き続きよろしく願いいたします。

明後日、6月1日(日)は、本校の創立記念日です

おかげさまで、本校は6月1日に創立151周年を迎えます。ご家庭でも、学校の誕生日を話題にし、なんらかのかたちで祝意を表現しつつ、日々の学校生活について話を聞いていただければ幸いです。引き続き、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。